

時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

こがくねん む 高学年向け 2026 年 なつごう 夏号



発行：時津町立時津図書館



『にっぽん中のスゴイ!が見つかる
絵さがし都道府県 3』
寺本 潔/監修（ポプラ社）

各県のスゴイものがイラストになって、
地図の上にかくれています。きみは全部見つ
けられるかな？

シリーズ3巻目には、私たちの住む長崎県
ものっています。

日本中の名産や歴史、自然などが遊びなが
ら学べちゃう本です♪

家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本に
ついて話す。これが「うちどく（家読）」です。
難しいルールは要りません。

家族みんなでルールを決めてはじめてみま
しょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさん
やおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい
時間を過ごしましょう。



『ともだちは海のおい』
工藤 直子/作 長 新太/絵（理論社）

コドクが好きなイルカが会ったのは、同
じくコドクが好きで読書とビールが大好きな
クジラだった。

広い海を漂いながら、本の話をしたり、
手紙を書いたりして、仲良くなっていくふた
り。

美しい詩と共に語られる、イルカとクジラ
の少し変わった友情の物語。



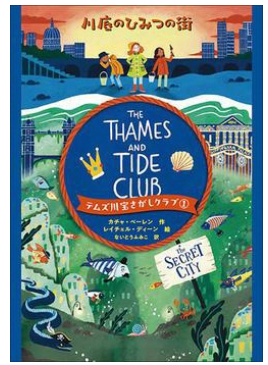
『爆弾に傘をさしたおばあちゃん』
かとう あい/作・絵（文芸社）

ひいおばあちゃんの遺品の中から見つ
かったのは焼夷弾のおもり。街を焼け野原に
した焼夷弾のおもりをなぜひいおばあ
ちゃんがもっていたのか？その謎を解くため、
ひいおばあちゃんの人生をたどっていく
と、壮絶な戦争体験と平和への強い想いが
ありました。



『なぜ、穴を見つけると
のぞきたくなるの?』
石川 幹人/著（朝日新聞出版社）

あなたはどうか？わたしは絶対のぞく
派です。ふだんは気がつかないけど、考
えみると、わたしたちのまわりには謎がいっぱ
い。他にも「なぜ野菜や果物には真っ青なもの
がないの?」とか「せまい場所に入るとホッと
するのはなぜ?」とか。子どもの疑問に物知り
博士が答えます。



『テムズ川宝さがしクラブ』
川底のひみつの街』
カチャ・バーレン/作 レイチェル・ディーン/絵
ないとう ふみこ/訳（徳間書店）

私はクレム。友達ザラとアッシュと毎
週テムズ川に行くの。川が干潮の時に、泥
に落ちている宝物を見つけるのが最高に楽
しいんだから！

でもある日、川が大荒れになって街にいろ
んな異常が発生し始めた。どうやら川原でひ
ろったこの輪っかが原因らしい…。持ち主に
返して、街を助けなきゃ！



『怪盗ルパン謎の旅行者』
モーリス・ルブラン/作 平岡 敦/訳
ヨシタケ シンスケ/絵（理論社）

モーリス・ルブランによって書かれた名作
『怪盗ルパン』シリーズの短いお話が4つ入
っています。

変装の名人で神出鬼没の怪盗アルセーヌ・ル
パンが人々を鮮やかにだまし、華麗にお宝を
盗んでいきます。アニメや漫画の人気キャラク
ターのモデルにもなっているルパンの怪盗劇を
のぞいてみませんか？